

研究紀要

第 49 号

平成19年 3 月

島根大学教育学部附属中学校

表紙題字 川 津 啓 義

目 次

第一部 研究論文

【国 語 科】

読書を広げる小単元の試み	湯 浅 哲 司	1
--------------------	---------------	---

【社 会 科】

自ら学ぶ意欲を育てる評価のあり方	竹 崎 葉 子	7
------------------------	---------------	---

【数 学 科】

意欲の向上を促す教材と発問の工夫	原 浩	17
------------------------	-----------	----

【理 科】

科学的探究心を育む学習指導	福 島 章 洋	25
---------------------	---------------	----

【保健体育科】

中学生の食生活の実態に関する一研究	上 田 亜由美	33
-------------------------	---------------	----

【英 語 科】

小学校英語活動と中学校英語科の効果的な接続について	中 釜 智 子	47
---------------------------------	---------------	----

【生徒支援】

中学校における生徒支援の進め方について	宮 崎 紀 雅	61
---------------------------	---------------	----

第二部 個人研究・活動報告		89
---------------------	--	----

読書を広げる小單元の積み

読書 読書 読書 読書 読書 読書 読書 読書 読書 読書

はじめに

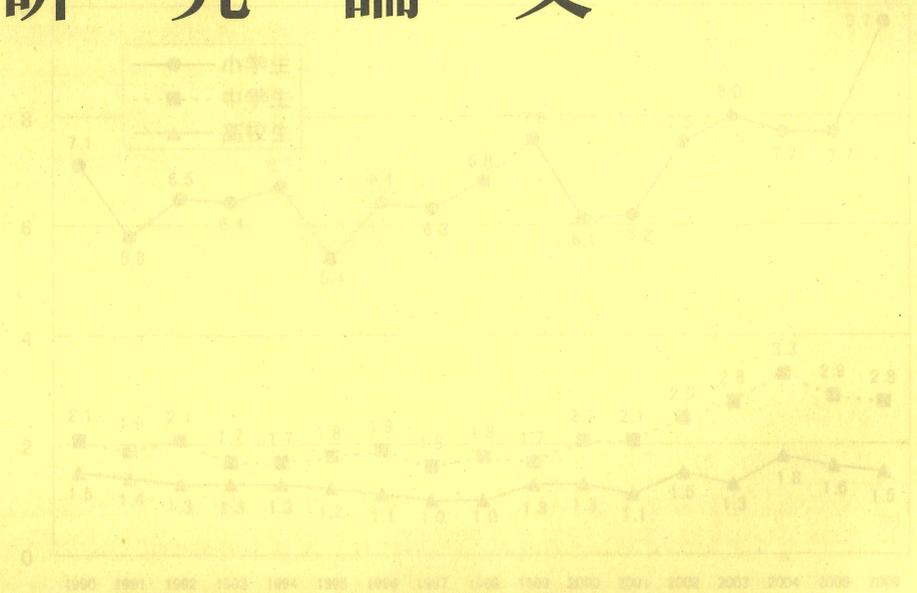
朝読書の全国的な広がりとともに、順調に伸びてきた平均読冊数と読書に就いての読書不読率がここきて頭打ちで横ばいである。中学校、高等学校では後退傾向がうかがわれる。「子ども読書アンケート調査」によると、平成17年を最高に17、18年と中学校、高等学校においては平均冊数の減少や不読率の増加が見られる。

第一部

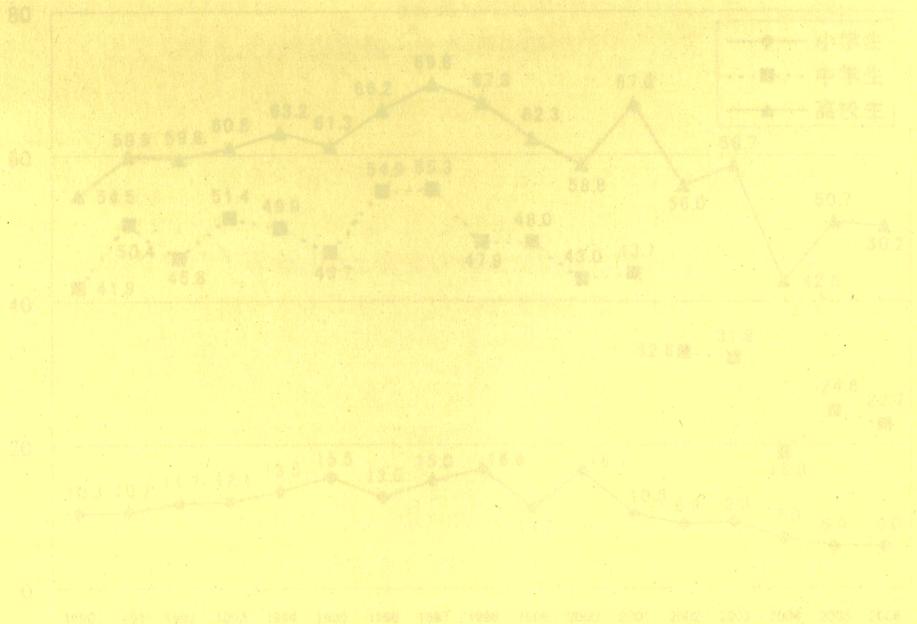
研究論文

こうした結果の理由についても調査されている。中、高校生が時間のなさを理由に挙げている。しかし、こうした理由は近年の新たな傾向ではない。そこで、近年の教育状況からこうした結果に至った理由を考えてみると、いくつかを想像できる。一つは、いわゆる朝読書の増加の頭打ちがあるのかもしれないということ、あるいは、学力をつけるという観点から読解中心の傾向が復活し、読書離れを招く要因になっているのかもしれないということ。これら以外にもいくつかの理由が考えられるのだが、こうした結果の理由の一つとして、「読書を広げる」という措きが有効でない点が一つの要因であると筆者は考えている。小学校においては自分の興味のあるものから読むことで、多読となり不読率も減る。しかし、中、高校生になると教科書や学習資料の読書が中心となり、読書が義務化されていく中で、本場

1990年以降の平均読冊数の推移 (学校図書館ニュースから)



1990年以降の不読者(0冊回答者)の推移 (学校図書館ニュースから)



第二部

個人研究・活動報告

個人研究・活動報告（2006. 4—2007. 3）

1 著 書

- 錦織 秀行 H18. 4（2006）「積層型デザイン」『美術2・3下美術の広がり【研究編】授業実践事例集』日本文教出版pp. 49-51
- H18. 4（2006）「つなげてみよう!!～メタモルフォーゼの世界～」『造形ジャーナル教材研究中学校』開隆堂出版pp. 14-15

2 論 文

- 西田 修 H18. 10（2006）「意欲的に学習する数学科学習指導法の研究 —小集団活動を取り入れた課題学習を通して—」『日本数学教育学会第39回数学教育論文発表会論文集』, pp. 180-185.

3 実技・作品

- 錦織 秀行 H18. 11（2006）「atbash cipher—隠された暗号—」『第4回島根県民文化祭・第39回島根県総合文化祭〔県展〕』デザインの部【銅賞】
- 小村 聡 H18. 8（2006）水環境フェア2006in松江 エンディングアトラクション合唱指導（くにびきメッセ）秋元康作詞／後藤次利作曲「だんだん」
- H18. 11（2006）島根県民文化祭オープニングセレモニー合唱指導（島根県民会館）保岡直樹作詞／宮川彬良作曲オリジナル曲「海の天使A-GO!」他
- H18. 11（2006）附中コンサート指揮（島根県民会館）宗左近作詞／山本純ノ助作曲混声合唱組曲「光葬」よりIV神の影 V光葬 他
- H19. 1（2007）プラバニューイヤーオペラコンサート出演（プラバホール）ビゼー作曲歌劇「カルメン」より第2幕五重唱（レメンダード）
- H19. 3（2007）出雲オペラ「カルメン」プレコンサート出演（ビッグハート出雲）ビゼー作曲歌劇「カルメン」より第2幕五重唱（レメンダード）他

4 研究発表

- 大島 悟 H18. 4（2006）山陰エネルギー環境教育研究会第一回研究交流会「環境に配慮した消費生活の在り方を考える中学校社会科学習～『コンビニは営業時間を短縮すべきか』の学習を通して～」, 島根大学
- H19. 3（2007）エネルギー教育フェアin島根「暮らしや社会と結びついた“確かな学力”とエネルギー教育の可能性」, 出雲科学館
- 西田 修 H18. 10（2006）「意欲的に学習する数学科学習指導法の研究 —小集団活動を取り入れた課題学習を通して—」, 日本数学教育学会 第39回数学教育論文発表会, 広島大学大学院教育学研究科.
- 宮崎 紀雅 H18. 12（2006）「中学校における特別支援教育の進め方」
一貫教育を語る会分（パネルディスカッション） 附属小学校
- 井上富美子 H19. 3（2007）エネルギー教育フェア, 家庭科ワークショップ, 家庭科におけるエネルギー環境教育「地産地消を中心とした家庭科における授業開発の取り組み」, 出雲科学館

5 授業研究

- 神田 裕之 H18. 7 (2006) 数学科「和算の世界へようこそ」島根大学教育学部附属中学校, 校内授業研究
- 西田 修 H18.10 (2006) 数学 「平方根」－循環小数と分数－, 第3学年3組, 島根大学教育学部附属中学校, 校内授業研究.
- 竹崎 葉子 H18.12 「身近な地域の歴史学習～中世の日本海水運～なぜ出雲沖に朝鮮でつくられた陶磁器が沈んでいたんだろうか～」一貫教育を語る会, 島根大学教育学部附属小学校 (中学校からの持ち込み授業)
- H19. 2 「江戸時代のくらしの工夫」山陰エネルギー環境教育研究会教育プログラム開発, 島根大学教育学部附属中学校

6 指導講師

- 大島 悟 H18. 8 (2006) 平成18年度中学校社会科・高等学校地歴公民科初任者研修, 松江教育センター
- H18. 8 (2006) 安来市中学校社会科部会研修会「都道府県規模の地域の調査について」, 安来市中央公民館
- 神田 裕之 H18. 8 (2006) 「平成18年度11年目研修 (中・高教育課題研修 (数学科))」島根県立松江教育センター
- H18. 7 (2006) 「美保関中学校授業研究会」(拡大夏期研修事前授業研究) 美保関中学校
- H18. 8 (2006) 「平成18年度島根県算数・数学教育拡大夏期研修会」松江市立湖東中学校
- H18.10.27 (2006) 「中四国算数・数学教育研究 (鳥取) 大会第1分科会」鳥取市立西中学校
- 西田 修 H18. 8 (2006) 指導講師「数学的活動を促す教材開発と指導法の工夫」, 平成18年度初任者研修 (中学・高等学校数学), 島根県立松江教育センター.
- 宮崎 紀雅 H18. 4 (2006) 「アスペルガー症候群への対応」松江市立湖北中学校 校内研修会
- H18. 6 (2006) 「中学校における生徒支援と養護教諭の役割」松江市教育研究会養護教諭部会 研修会 合同庁舎
- H18. 8 (2006) 「W I S C - III の検査法と実践」松江市特別支援教育 心理検査実技講習会 玉湯公民館
- H18. 8 (2006) 「小・中学校における生徒支援の進め方」広島県障害児教育療育セミナー グリーンピアせとうち
- H18. 8 (2006) 「中学校における生徒支援の進め方」松江市立湖南中学校 校内研修会
- H19. 3 (2007) 「特別支援教育相談論 (小・中学校における特別支援教育の進め方)」島根大学教育学部
- 井上富美子 H19. 1 (2007) 雲南市教育研究会家庭科部会, 家庭科授業研究会, 指導助言者, 雲南市三刀屋小学校
- 小村 聡 H18. 6 (2006) 中等音楽科教育法特講「ようこそ先輩」(島根大学教育学部)

研 究 紀 要 第 49 号

発行日 平成19年 3 月20日

発行者 島根大学教育学部附属中学校
〒690-0824 松江市菅田町167-1
TEL (0852) 29-1300(代)

印刷 (有) 松 本 印 刷